

WELFARE INFORMATION GIFU

福祉だより ぎふ

福祉のお仕事魅力発信フェスタ

来て・見て・感じて

ふくしワールド 開催しました

新型コロナウイルス感染症防止対策を施し、モレラ岐阜にて「福祉のお仕事魅力発信フェスタ 来て・見て・感じてふくしワールド」を開催しました。

岐阜県出身の義足のダンサー大前光市さんを招いたステージイベントや、福祉施設と中継し、現場で活躍される職員の方々から福祉のお仕事の魅力を発信。幅広い世代の方々に観覧いただき、「福祉の仕事」に対する新しい発見があったとの声をいただきました。



モレラ岐阜の会場の周りには足を止め見学する方たちも



東京パラリンピック開会式のパフォーマンスで使用した“光る義足”を説明する大前光市さん



中継先の特別養護老人ホームほほえみ福寿の家の職員さんたち

CONTENTS

2021

12

No.709



ともにん



愛と希望

- 福祉のお仕事魅力発信フェスタ【開催報告】
来て・見て・感じて ふくしワールド P 2
- 地域に貢献できる民児協を目指して
瑞穂市牛牧民生委員児童委員協議会 P 4
- 労務相談Q&A P 5
- リフトバス「ながら号」仮予約受付開始 P 6
- 福祉のお仕事フェアin西濃地域開催のご案内
- 福祉の職場の離職問題 ～その対策は～ (その3) P 7
- お知らせ P 8

福祉のお仕事魅力発信フェスタ 【開催報告】 来て・見て・感じてふくしワールド

11月6日(土)にモレラ岐阜(本巣市三橋)1階 ローズプラザにて福祉のお仕事魅力発信フェスタ「来て・見て・感じて ふくしワールド」を開催しました。

▼WITH コロナ

新型コロナウイルス感染症が続く中、イベントの開催方法が直前まで確定できない状況でしたが、10月から緊急事態宣言も解除され、その後、感染者の急増もなく、感染防止対策を施してモレラ岐阜のローズプラザでの開催が実現しました。また、ステージイベントはライブ配信も行いました。

▼義足のダンサー

大前光市さん来場

義足のプロダンサーとして活躍し、東京パラリンピックの開会式でもパフォーマンスを披露された下呂市出身の大前光市さんが、

「ふくしワールド」に出演し、ダンス2曲と楽しいトークで会場を楽しませてくださいました。

インタビューでは、東京パラリンピック開会式のステージパフォーマンスについて、パフォーマンスに込められた思いや義足について説明してくださいました。



▲義足の説明をする大前さん

「日本では、まだ多様性が広がっていきなくて、障がい者と健常者が区別されていると感じる。ステージに参加したみんなは多様性

をテーマに掲げ、障がいがあってもみんな同じということを知ってほしくて世界に発信しました。」と説明。また、実際に開会式のステージで使用した光る義足を披露し、様々な色のライトが点灯する義足をテーブルの上に置き「オブジェにもなるんですよ」、などとユーモア交え話されました。

大前さんは舞台での活躍を目指していたオーディションの直前に交通事故で、左足ひざ下を切断することとなりました。その後もダンスを続けていく中で、「最初は人と同じように踊ることがダンスが上手くなることだと思い、必死で練習していた。ある時、自分らしく表現することに気づかせてくれた仲間に出会い、ダンスのスタイルの世界が広がった」と大前さんのスタイルが出来上がるまでの苦労などもお話しされました。

ダンスや日常生活では義足を使い分けている大前さん。舞台上で活躍する裏には、ダンスで使用する特殊な義足を作るために大前さんのアイデアをカタチにする義肢の装具士さんがいる。それにより自分の世界が実現できていることに



▲光る義足でダンスを披露する大前さん

感謝しているそうです。ステージの最後も、素敵でダンスで観客を魅了していました。

▼オンライン中継

「福祉のお仕事魅力発信」イベントのメインは、楽しい・かっこいい・新しい・働きやすいをテーマに現場で活躍する職員の方々にオンライン中継で登場いただき、福祉のお仕事の「今」をありのまま語っていただきました。

〈特別養護老人ホーム

ほほえみ福寿の家〉

特別養護老人ホームは、利用者に「我が家」として安心して過ごしてもらおう場所。ほほえみ福寿の

家では、様々な職種の職員さんたちが力を合わせて、利用者さんの穏やかな生活を支えており、施設での様々な工夫や、やりがいをご紹介いただきました。

冒頭では、コミュニケーションロボット「PARLO」が施設の紹介をし、「SASUKE」等の介護用ロボットを、実際に使用している映像を交えてご紹介いただきました。



▲ほほえみ福寿の家の皆さん

歯科衛生士さんが利用者さんの嚥下を良くするためにやっている「あいうえお体操」を、会場の皆さんにも一緒に楽しく体験していただきました。

また、利用者さんの看取りを振

り返る「追悼カンファレンス」についてご紹介いただきました。

観覧された方からは、普段聞くことがない「追悼カンファレンス」や看取りについての説明を聞き、介護の仕事への興味を持ったとの声も。

施設長からは、「私たちの仕事は、利用者さんの生活を支え、命を守ることに、社会になくはならない仕事です。」と、エッセンシャルワーカーとしての仕事のやりがいや熱い思いを語っていただきました。

〈介護老人保健施設

西美濃さくら苑〉

住み慣れた自宅で生活できるようリハビリテーションを行い在宅復帰を目指す利用者様をサポートすることが介護老人保健施設の役割。西美濃さくら苑では、入所中も利用者が楽しく過ごすことができるよう職員の方々が様々なアイデアを出し、レクリエーションを行っています。

そんな施設でのレクリエーションやリハビリテーションを、介護職を始め看護師や理学療法士など

様々な職種の方たちが動画を交えてご紹介いただきました。

また、福祉の現場では働きやすい職場を目指し様々な取り組みが



▲ふくしワールドのために用意された西美濃さくら苑スタジオ

行われていますが、西美濃さくら苑では介護助手を採用し、資格のある職員が専門的な業務に集中できる態勢を整えたり、子育て中の職員も働きやすい環境を整えている。その結果、業務の質も向上しているなどと説明されました。

普段聞くことのない現場職員の方々のお話に観客の方々は熱心に聞き入っていました。

▼イベントを終えて

11時から16時まで会場内では、岐阜新聞社協力による福祉の現場で働く職員の方々のインタビューした「笑顔つなぐ福祉のわ」の記事を展示し、楽しい・かっこいい・新しい・働きやすい、福祉のお仕事の世界を発信しました。また、就職相談コーナーを設け、当日は福祉の仕事を目指す求職者の方にご利用いただきました。

「福祉の仕事魅力発信」と人材センターのPRをして、イベントは無事終了しました。このイベントの様子は、令和4年3月31日まで岐阜県社会福祉協議会ホームページ内「ふくしワールド」特設サイトにて公開しています。

【主催】岐阜県・岐阜県社会福祉協議会
【協力】社会福祉法人桜友会、医療法人社団橋会、岐阜新聞社



令和4年3月31日まで「ふくしワールド」特設サイト公開中
当日の様子は動画でもご覧いただけます。

お問い合わせ
岐阜県社会福祉協議会 岐阜県福祉人材総合支援センター
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 福祉・農業会館3階 TEL:058-276-2510

地域に貢献できる民児協を目指して
瑞穂市牛牧民生委員児童委員協議会

はじめに

瑞穂市は、岐阜県の濃尾平野の北西、岐阜市と大垣市にはさまれて位置し、東には清流長良川、西に揖斐川が流れる輪中地帯にあります。平成15年に、穂積町と巣南町が合併して誕生した市です。現在の人口は55,000人を超え人口増加率、平均年齢の若さともに県下ナンバーワンのまちです。瑞穂市民児協は合併からしばらくは穂積と巣南の2つの民児協で活動していましたが、平成30年に穂積民児協を校区ごとに4分割し牛牧民児協として活動することになりました。現在は、民生委員・児童委員14名と主任児童委員2名の総勢16名で活動しています。

コロナ禍での活動の現状

コロナウイルスの感染拡大は、私たちの活動にも大きな影響をもたらしました。公共施設の利用等が出来なくな

り定例会や研修会が度々の開催中止となりました。特に民生委員・児童委員の一斉改選が行われた直後からの1年半余りの間、緊急事態宣言等により新任委員への研修が行えず、かろうじて開催出来た定例会にて活動での困りごとや諸問題を委員全員で話し合い、相談できる体制を整えました。また、高齢者の見守り訪問やサロン活動も積極的な活動が難しい状況にあります。10月になり当民児協独自にて、DVDによる研修を実施して対応しています。

しかし、コロナワクチンの2回目接種済みの割合が70%を超え、直近の感染者数もひと桁台の日が多くなり、これからはもう少し活動の幅を広げられるのではないかと期待しています。

あいさつ運動の継続

コロナ禍ではありますが、小中学校の朝の登校時のあいさつ

運動は継続的に行っています。瑞穂市では毎月1日をあいさつ運動の日と位置付けており、私たちもこの日に合わせて、牛牧小学校と穂積中学校の登校時に当番を決め、あいさつ運動を行っています。「おはようございます！」と民生委員・児童委員と子どもたちが元気に挨拶を交わしています。この日頃の活動が絆を深め、地域と学校が連携し、子どもたちを育むことにつながっています。



牛牧小学校における挨拶運動
牛牧小学校西門前

赤い羽根共同募金活動

先日は社会福祉協議会と連携して街頭募金活動を行いました。多くの善意ある市民の方々から募金をいただきました。活動時には緑色のビブスを着



店先をお借りしての募金活動
PLANT-6

**地区社会福祉協議会の
設立へ向けて**

さて、牛牧民児協では、牛牧地区区自治会連合会と連携し、今年度瑞穂市では初めての地区社会福祉協議会の設立に向けて、より実践的な地域に貢献できる民児協を目指して協議を重ねています。設立は4月に予定していましたが、度重なる緊急事態宣言で延期が相次ぎました。現在は12月の設立を目指しています。設立後は、より地域に貢献できる民児協として活動していきたいと思えます。

協力：伏屋社会保険労務士事務所 加藤令子氏（社会保険労務士）

労務相談 Q & A

今後1年間に施行される主な法改正

施行日		項目	概要
大企業	中小企業		
	2022.1	傷病手当金の見直し	暦の通算から支給期間の通算へ変更 支給開始から連続した1年6か月ではなく、実際に傷病手当金が支給された期間を通算して1年6か月までを支給対象となります
—	2022.4	パワハラ防止措置の義務化	職場におけるパワーハラスメントの防止のために講ずべき措置の実施
	2022.4	育児休業等の ①個別周知義務化 ②有期労働者の要件緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業等の環境整備・個別周知義務化 ・有期労働者の要件緩和（育児休業・介護休業）
—	2022.4	一般事業主行動計画の策定義務(女性活躍推進)	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(101人以上企業)
	2022.4	高齢者の雇用保険 2か所事業所通算	65歳以上で合計週20時間以上となる労働者の雇用保険の加入特例 2つの事業所の労働時間を合算して週20時間以上となる複数就業者（マルチジョブホルダー）が雇用保険適用となります
—	2022.10	社会保険の適用拡大	社会保険加入（週20時間基準）の101人以上従業員規模への拡大
	2022.10	育児休業中の社会保険料免除の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・2週間以上の育児休業も給与の社会保険料免除対象 ・1か月超の育児休業に限り賞与の社会保険料免除対象
—	2022.10	出生時育児休業制度創設	出生後8週間以内の4週間の新育児休業制度の開始

リフトバス「ながら号」

令和4年度運行分（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
仮予約の受付を開始します！



1. 受付開始日 令和4年1月11日（火）
2. 受付開始時間 午前 9時（受付時間前の申込はご遠慮ください）
3. 受付電話番号 058-201-1561
058-201-1562

※受付は先着順に行いますので、ご希望に添えない場合があります。

※特に、受付開始当初は電話が大変混雑します。

その際は、一旦受付のみで電話を切り、改めてこちらから電話をいただきます。

※令和4年度利用者負担額（基本会費等の単価）は現時点では未定です。

決まり次第、ホームページ等で公表します。

岐阜県社会福祉協議会ホームページ <https://www.winc.or.jp>



令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		
	定員	基本補償(A型)
補償本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付補償本(B型)	基本補償(A型) 保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

福祉のお仕事フェアin西濃地域開催のご案内

西濃地域にある高齢・障害・児童の求人募集をする事業所の採用担当者と面談できる就職イベントを開催します！(複数面談された求職者の方には500円分のクオカード贈呈)

福祉の仕事や資格についてご相談いただけるブースもありますので、未経験・学生の方もお気軽にご参加いただけます。

※密防止のため事前予約が必要となります(当日予約可)。感染状況によっては開催方法が変更になることもありますので、センターHPをご覧ください。

日時：令和4年1月15日(土)
場所：大垣市情報工房スィンクホール
参加費無料、事前予約制(当日予約可)、
服装自由、履歴書不要

お問合せ先：岐阜県福祉人材総合支援センター
電話番号⇒058-276-2510、
ホームページへは
“めざせ福祉のお仕事”で検索



ご予約は申込フォーム(左記QRコード)か
お電話(058-276-2510)から！



福祉の職場の離職問題

その対策は？(その3)

「新規入職者への安心メンター」

今回は、「新規入職者への安心づくり」が人材定着につながっている県内の福祉事業所の事例を紹介します。

「メンター制度やプリセプター制度を導入」

年齢や社歴の近い先輩職員(メンター)が、後輩社員のサポートをするメンター制度や、先輩の介護士(プリセプター)が、新人介護士(プリセプティ)に一人ずつ付き、一定期間マンツーマンで教えるプリセプター制度を導入している事業所が多く見られました。

とりわけ山県市大桑にある社会福祉法人同朋会では、先輩職員が一对一で実践指導するのみならず、指導を担う先輩職員以外にも職場全体で新人職員を育てていくために、職員全員に向けての研修も行っていると言います。

「公認心理師による」

「新人職員向け研修を」

関市平成通にある医療法人香徳会では、公認心理師によるSOSの出し方などを教える新人職員向け研修に力を入れています。

毎月第一水曜日に、新人職員を対象とするコミュニケーションショウを開き、新人職員は2ヶ月間これに参加します。「早く仕事を覚えないと…」「中途採用で、他の職員から『前職での経験があるからこれくらいできるよね』と言われ、悩んでしまふ」などと、心の内を明かしていくうちに本音が出て来ると言います。公認心理師は、SOSの出し方のほか人への頼り方などもレクチャーし、直接相談に載ることを伝えると言います。

相談内容によっては、公認心理師と管理者が連携し職員をサポートする仕組みも設けていると言います。



人材センター
HP
QRコード

岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター
(058) 276-2510

ありがとうございました!

トヨタL&F中部株式会社様より車いすの寄贈

11月5日、トヨタL&F中部株式会社（長谷武 取締役社長）様より、車いすの寄贈をいただきました。

同社は、社会貢献活動の一環として、平成19年度より毎年、愛知県・岐阜県・三重県の社会福祉施設等へ車いすの寄贈を行っており、本年度、岐阜県については、県内20か所の障害者施設に計20台が寄贈されました。

寄贈式においては、トヨタL&F中部株式会社の執行役員 稲垣様より、本会の小林常務理事に目録が手渡され、小林常務理事から稲垣様に感謝状を贈呈いたしました。

また、寄贈先施設を代表し、もみじの舞の副施設長である深尾様が車いすを受け取られ、お礼の言葉を述べられました。



▲写真右から、トヨタL&F中部株式会社 第5営業部部長 熊田様、執行役員 稲垣様、もみじの舞 副施設長 深尾様、本会小林常務理事

住友生命保険相互会社 岐阜支社様よりタオルの寄贈

11月15日、住友生命保険相互会社 岐阜支社（支社長 安保利和）様より、未使用タオルの寄贈をいただきました。

同社は、コロナ禍の中、福祉の現場においてタオルの需要が見込まれることから、社会貢献活動の一環として、職員の方々が未使用タオルを持ち寄り、今年度は約250本の未使用タオルを寄贈されました。

寄贈式においては、本会の小林常務理事から住友生命保険相互会社岐阜支社総務部部長志賀様に感謝状を贈呈いたしました。

また、寄贈先の児童養護施設を代表し、日本児童育成園の園長である長縄様が、お礼の言葉を述べられました。

寄贈されたタオルについては、県内の児童養護施設に配布される予定です。



▲写真右から、住友生命保険相互会社 岐阜支社 総務部部長 志賀様、日本児童育成園 園長 長縄様、本会小林常務理事

11月号特集記事にて紹介しました生活福祉資金特例貸付については、緊急小口資金及び総合支援資金（初回貸付）の申請期間が令和4年3月末日まで延長、総合支援資金（再貸付）の申請期間が令和3年12月末日まで延長となりましたのでお知らせします。

*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL(058)201-1545 FAX(058)275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行